

試験ブループリントガイド

Nutanix 認定プロフェッショナル クラウドネイティブ (NCP-CN) 6.10 試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジューリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験のポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
2 対象者	6
3. NCP-CN 6.10試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - NKPのデプロイメントのための環境を準備する	7
セクション2 - NKPクラスタの構築を管理する	10
セクション3 - Day 2オペレーションを実行する	11
セクション4 - NKPフリート管理を実行する	14
4. NCP-CN 6.10トレーニングの推奨事項	18
4.1 コースの推奨事項	18
5. リソース	19
5.1 Nutanix Community Edition	19
5.2 テストドライブ	19
5.3 Nutanix Community	19
5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース	19

作成者

Jeff Hall 技術認定開発担当マネージャー

寄稿者

Alexey Davydov シニアシステムエンジニア

Arvind Bhoj シニアソリューションアーキテクト - クラウドネイティブ

Craig Neth スタッフエスカレーションエンジニア

Daemon Behr アドバイザリーシステムエンジニア

David Rios Delgado シニアスタッフエンタープライズアーキテクト

Dustin Nemes シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Eric Gullickson シニアシステムエンジニア

Jay D' Angelo シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

Jesse Gonzalez スタッフソリューションアーキテクト - クラウドネイティブ

Lev Goronstein アドバイザリーシステムエンジニア

Ranvir Mankoo スタッ夫技術コース開発者

Samuel Schoen シニアセールススペシャリスト - NKP

Sonali Mishra シニアプロダクトマネージャー

Tony Bove シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

Valerie Rivera シニアアソシエイトアカデミーシステムエンジニア

Victor D' Gibbs アドバイザリーシステムエンジニア

免責条項 :

Nutanix認定プロフェッショナル - クラウドネイティブ (NCP-CN) 6.10試験ブループリントガイドでは、NCP-CN 6認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-CN 6認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、隨時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - クラウドネイティブ (NCP-CN) 6.10試験は、Nutanix Kubernetes Platform (NKP) クラスタにおけるデプロイと、構成、最適化、トラブルシューティング、および管理タスクを実行する能力をテストします。合格者は、これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

1.2 問題数

NCP-CN 6.10試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-CN 6.10試験の受験料は、199米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanix Kubernetes Platform (NKP) クラスタにおけるデプロイと、構成、最適化、トラブルシューティング、および管理タスクの実行などの業務に関連して特定されたタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語および日本語で受験できます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジューリングおよび受験

NCP-CN6.10試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-MCI 6.10試験は、Nutanixクラウドネイティブトラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-CN6認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験のポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで

7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、

university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - クラウドネイティブ 6.10試験に合格し、NCP-CN 6認定資格を取得すると、資格は2年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2 対象者

NCP-CN 6.10試験およびNCP-CN 6認定資格は、Kubernetesクラスタの構築および管理の経験が6~12カ月以上、Linuxの使用経験が6~12カ月以上、Kubernetesプラットフォームの使用経験が6カ月以上、または該当するトレーニングを受けている方を受験対象者として想定しています。

合格者は、対象プラットフォームに関する基礎知識と、基本的なネットワーキング、および基本的なクラウドネイティブの概念を理解し、Kubernetes認定管理者（CKA）レベルの知識を持っているものとみなされます。

一般的に、DevOpsエンジニアや、クラウドエンジニア、NKP管理者、プラットフォーム管理者、またはプラットフォームエンジニアなどが合格しています。また、ソリューションアーキテクトや、開発者、システムエンジニア、システム信頼性エンジニアなども 合格者となっています。

Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理（NKPA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-CN 6. 10試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-CN 試験を受験する前に、Nutanix Kubernetes Platform (NKP) のクラスタにおけるデプロイと、構成、最適化、トラブルシューティング、および管理タスクの実行に必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験する前に「[セクション4](#)」に記載されているトレーニングコースを完了しておくことも推奨されます。

NCP-CN 6認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- NKP : バージョン2.12
- AOS : バージョン6.10
- Prism Central : バージョンpc2024.2

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標と、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、および目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

また、すべての目標は、以下で挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合もあります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - NKPのデプロイメントのための環境を準備する

目標1.1：プライベートレジストリをシードする

知識

- レジストリをシードする目的を特定する
- レジストリをシードするコマンドのためのパラメータを特定する
- レジストリをシードするためのワークフローを理解していることを示す
- レジストリをシードしている際に発生する問題をトラブルシューティングする
- プライベートレジストリに必要なネットワーク要件を認識する

参考資料

- エアギャップ環境 vs 非エアギャップ環境
- エアギャップクラスタへのレジストリへのシード

- インストールの前提条件
- Nutanixのエアギャップ：レジストリのロード

目標1.2：ブートストラップクラスタを作成する

知識

- ブートストラップクラスタを作成する目的を特定する
- ブートストラップクラスタを作成するためのパラメータを特定する
- ブートストラップクラスタを作成するためのワークフローを理解していることを示す
- ブートストラップクラスタを作成している際に発生する問題をトラブルシューティングする

参考資料

- CAPIの概念と用語
- Nutanixのエアギャップインストール
- NKPの前提条件
- ブートストラップクラスタのKubeconfigをファイルに出力する

目標1.3：クラスタのためのライセンスティアを決定する

知識

- ライセンスタイプごとに機能レベルを区別する
- ユースケースとライセンスティアを一致させる
- ライセンスを取得するためのプロセスを特定する

参考資料

- NKP Starterライセンス
- NKP Proライセンス
- NKP Ultimateライセンス
- NKPライセンスの追加
- NKPライセンスの削除

目標1.4：要塞ホストを準備する

知識

- 要塞ホストの目的を特定する
- 要塞ホストの前提条件とコンポーネントを理解していることを示す
- 要塞ホストに必要なネットワーク要件を認識する

参考資料

- 要塞ホストの作成
- インフラストラクチャ別の基本的なインストール方法

目的1.5：マシンイメージの構築またはノードの準備をする

知識

- NIBのCLIツールを使用してマシンイメージを構築する目的とプロセスを理解していることを示す
- KIBのCLIツールを使用してノードを準備する目的とプロセスを理解していることを示す
- マシンイメージを構築するための前提条件を認識する
- マシンイメージの構築とノードの準備に必要な最小要件を認識する
- イメージの構築やノードの準備をするためのプロセスをカスタマイズする方法を決定する
- エアギャップ環境でイメージを構築するために必要な変更を理解していることを示す

参考資料

- Konvoy Image Builder
- AKSのためのKIB
- エアギャップパッケージバンドルの作成
- Konvoy Image BuilderのCLI
- 事前プロビジョニング済みエアギャップ：環境の構成
- vSphere FIPS : CAPI VMテンプレートの作成
- vSphere FIPS : 管理クラスタの作成

目標1.6：ターゲットプロバイダでクラスタを構築するために情報を集める

知識

- ターゲットプロバイダでクラスタを構築することに関連したパラメータを特定する
 - ネットワーク要件
 - 接続の詳細
 - ストレージ要件

参考資料

- AKSのインストールオプション
- 事前プロビジョニング：インフラストラクチャの定義
- 一般的なNKPリソース要件
- サポートされているオペレーティングシステム

セクション2 - NKPクラスタの構築を管理する

目的2.1：クラスタのカスタマイズとデプロイをする

知識

- クラスタの構築とデプロイにNKPのCLIを使用する
- ユースケースを踏まえ、カスタマイズのためにクラスタAPIのさまざまなコンポーネントを使用するタイミングと方法を決定する
- クラスタのデプロイメントに関する問題を診断するための手順を決定する
 - どのクラスタAPIリソースを分析すべきかを決定する
- クラスタをデプロイするためにカスタムマニフェストを使用するタイミングと方法を決定する
 - 対応するクラスタAPIリソースとその構成パラメータを決定する
- 特定のクラスタデプロイメントのユースケースに必要なNKPのCLIパラメータを分析する

参考資料

- インストールの前提条件
- NKPのインストール
- ProおよびUltimateにおけるクラスタの最小要件
- Nutanixのエアギャップインストール
- Nutanixのエアギャップ環境における新しいクラスタの作成

-
- 
- プロジェクトアプリケーション
 - Nutanix KubernetesプラットフォームのInsightsガイド
 - AWSのインストールオプション
 - vSphereのノードプールの作成
 - 新しいAWSエアギャップクラスタの作成

目標2.2 : Kommanderをカスタマイズしてデプロイし、適切なライセンスを適用する

知識

- クラスタの構築とデプロイにKommanderを使用する
- Kommanderのデプロイメントに関する問題を診断するための手順を決定する
- Kommanderをデプロイするためにカスタムマニフェストを使用するタイミングと方法を決定する
 - 対応するプラットフォームアプリケーションのリソースとその構成パラメータを決定する
- 特定のKommanderのデプロイメントのためのユースケースに必要なNKPのCLIパラメータを分析する

参考資料

- NKPにおけるFIPSのサポート
- vSphereでのKIBの使用
- BaseOSイメージの要件
- 小規模環境におけるKommanderのインストール
- Kommanderの追加構成

セクション3 – Day 2オペレーションを実行する

目的 3.1 : 認証と認可を構成する

知識

- IDプロバイダとグループを構成する
- Kommanderのロールとクラスタのロールを区別する
- カスタムロールとロールバインディングを構成する
- トークンを使ってユーザーを認証する
- 環境のコンテキストとロールの継承を理解していることを示す
- RBACの認可を使用する

参考資料

- NKPのセキュリティ
- Gatekeeperを使用したポリシーの強制
- 外部LDAPディレクトリの構成
- アクセス制御

目的3.2：ロギングを構成する

知識

- ロギングスタックを理解していることを示す
- ロギングスタックアプリケーションを有効化する
- ロギングスタックアプリケーションの構成と管理をする
- マルチテナント環境でロギングを管理する
- ログを集める
- Nutanix Unified Storageに永続データを統合する
- ロギングスタックをスケールする

参考資料

- NKPのロギング
- ロギングのオペレーター
- ロギングスタックのオペレーター
- ロギングスタックアプリケーションのカスタマイズ
- マルチテナントのロギング
- NKPでAWS S3ストレージを使用するためのLokiの構成

目標3.3：クラスタのバックアップとリカバリを構成する

知識

- クラスタのバックアップとリカバリにおける依存関係を認識する
- クラスタのバックアップをするためのターゲットストレージの要件を決定する
- Veleroを構成する（バックアップのスケジュールや有効化など）

- VeleroのCLIを使用してバックアップと復元を実行する
- バックアップのためのストレージ/ボリュームのスナップショットクラスを構成する
- バックアップに関する問題の診断と対処をする
- クラスタの復元を実行する

参考資料

- バックアップ&復元のためのNKPライセンスのサポート
- バックアップのオペレーション
- Veleroの構成
- CLIを使用したVeleroのインストール

目標3.4 : パフォーマンスと健全性をモニタリングする

知識

- モニタリングスタックを理解していることを示す
- モニタリングスタックの構成/有効化をする
- マルチクラスタ環境でモニタリングを一元化する
- サービスレベルおよびシステムレベルのメトリクスをカスタマイズする
- パフォーマンスと健全性に関する問題の診断と対処をする
- カスタムダッシュボードを使用する
- モニタリングのアラートとエンドポイントを構成する
- モニタリングアプリケーションのためのバックエンドストレージを構成する

参考資料

- 一元化されたメトリクス
- クラスターのメトリクス
- モニタリングとアラート
- Nutanix KubernetesプラットフォームのInsightsガイド
- Nutanix管理ツール

目的3.5: クラスタの自動スケーリングを構成する

知識

- クラスタの自動スケーリングの有効化および構成のための目的とユースケースを認識する
- クラスタの自動スケーリングの有効化と構成をする方法を示す

参考資料

- Nutanix Cluster Autoscalerの構成
- AWSクラスタの自動スケーラの構成
- vSphereクラスタの自動スケーラの構成

目標3.6：ライフサイクル管理機能を実行する

知識

- クラスタをアップグレードする
- シナリオを踏まえ、クラスタ構成を更新するタイミングと方法を決定する
- ノードプールを管理する
- クラスタを手動でスケールする
- クラスタを削除するためにNKPのCLIを使用する

参考資料

- アップグレードの前提条件
- アップグレード：エアギャップ環境専用
- NKP Ultimateのアップグレード
- NKP Proのアップグレード
- 管理クラスタにおけるKubernetesのバージョンのアップグレード

セクション4 - NKPフリート管理を実行する

目標4.1：ワークスペースを構成する

知識

- ユースケースを踏まえ、ワークロードクラスタのワークスペース割り当てを決定する
- ワークスペースの目的とユースケースを認識する
- インフラストラクチャプロバイダを構成する

- ワークスペースレベルでアクセス制御を構成する
- アプリケーションをワークスペースにデプロイする
- Insightsの目的とユースケースを認識する

参考資料

- ワークスペースの作成
- ワークスペースの削除
- ワークスペースのアプリケーション
- クラスタごとのアプリケーションの有効化
- 各テナント専用のログインURLの生成
- NKPにおけるマルチテナント
- Nutanix KubernetesプラットフォームのInsightsの概要
- NKP Insights Ultimateライセンスのインストール

目標4.2：ワークロードクラスタをワークスペースにデプロイする

知識

- ワークロードクラスタのデプロイに対するターゲットプロバイダ環境の影響を認識する
- ワークロードクラスタをデプロイする目的とユースケースを認識する
- シナリオを踏まえ、ワークロードクラスタのデプロイ方法を決定する
- ワークロードクラスタのデプロイメントのトラブルシューティングをする

参考資料

- ワークスペース
- ワークスペースのアプリケーション
- NKP UIを通じたVCDにおける管理クラスタの作成
- vSphere : NKPのCLIを使用した管理クラスタの作成
- インフラストラクチャプロバイダ
- アクセスの管理
- ワークスペースのロールバインディングの作成

目的4.3：ワークスペースにクラスタをアタッチする

知識

- クラスターをアタッチする目的とユースケースを認識する
- シナリオを踏まえ、クラスタをアタッチする方法を決定する
- アタッチしたクラスタの能力を認識する
- クラスタのアタッチに関するトラブルシューティングをする
- アタッチしたクラスタの構成と更新をする

参考資料

- 既存のクラスタをアタッチするための基本要件
- 既存のAKSと、EKS、およびGKEクラスタをアタッチするための要件
- 既存のKubernetesクラスタのアタッチ
- EKS：クラスタの準備
- トンネルアタッチのための前提条件
- デフォルトのStorageClassの作成

目的4.4：ワークスペースからクラスタをデタッチまたは削除する

知識

- デコミッショニングの目的とユースケースを認識する
- GUIからクラスタを削除するためにKommanderダッシュボードを使用する
- クラスタのデタッチ/削除に関する問題をトラブルシューティングする

参考資料

- クラスタの切断または削除
- 1つのコマンドでのNKPクラスタの削除
- NKP UIからのEKSクラスタの削除

目標4.5：プロジェクトを構成する

知識

- プロジェクトの目的とユースケースを認識する

- ユースケースを踏まえ、ワークロードクラスタのプロジェクト割り当てを決定する
- プロジェクトレベルでアクセス制御を構成する
- プロジェクトレベルでアプリケーションをデプロイする
- CDのデプロイメントを構成する
- プロジェクトにクラスタを追加する
- リソースをフェデレーションする

参考資料

- UIを用いたプロジェクトの作成
- 繙続的デプロイメント
- GitOpsを用いた継続的デリバリー
- プロジェクトへのアクセスの管理
- プロジェクトのクオータとリミット範囲

目標4.6：プラットフォームのアプリケーションを構成する

知識

- プラットフォームのアプリケーションの依存関係を認識する
- Kommanderのダッシュボードからプラットフォームアプリケーションのデプロイメントをカスタマイズする
- グローバルスコープとクラスタスコープのアプリケーション構成を区別する
- プラットフォームアプリケーションの構成に関するトラブルシューティングをする
- CLIを通じてプラットフォームアプリケーションの変更や、無効化、または有効化をする

参考資料

- プラットフォームアプリケーション
- プラットフォームアプリケーションの依存関係
- Ultimate : UIを使用したアプリケーションの有効化
- デプロイメントのスコープ
- CLIを使用したプラットフォームアプリケーションのデプロイ
- 環境に基づいたKommanderのインストール

4. NCP-CN 6.10トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

コースの詳細は以下のとおりです。

Nutanix® Kubernetesプラットフォーム管理 (NKPA) コースでは、Nutanix Kubernetes Platform (NKP) クラスタにおけるデプロイと、構成、最適化、トラブルシューティング、および管理タスクの実行をするために必要なスキルを学びます。

NKPAのコースでは、以下のような多くのテーマを扱っています：

- NKPとは何か、主要な用語と概念、エアギャップ環境と非エアギャップ環境へのNKPのインストール方法、およびNKPクラスタへのライセンス適用方法。
- インフラストラクチャの構成や、ワークスペースの使用、クラスタの作成、アタッチ、スケーリング、プロジェクトの作成、およびNKPのアップグレードなど、NKPクラスタのためのさまざまなライフサイクル管理オペレーション。
- IDプロバイダの構成や、IDプロバイダグループの作成、ワークスペースとプロジェクトのロールの構成、およびロールのバインドなど、アクセス制御の構成と管理をする方法。
- プラットフォームアプリケーションとは何か、NKPがアウト・オブ・ザ・ボックス(00TB)で提供するプラットフォームアプリケーションのカテゴリー（モニタリングや、ロギング、セキュリティなど）、およびプラットフォームアプリケーションのデプロイ方法。
- NKPクラスタと、そのクラスタ上で実行されているアプリケーションの保護および復元をする方法。
- NKPのロギングスタックについて、ロギングスタックのアプリケーションの有効化方法と、カスタマイズ方法、スケール方法、特定のネームスペースにロギングを制限する方法、およびログの表示方法。
- NKPのモニタリング機能について、どのコンポーネントがメトリクスを収集するか、どのメトリクスが公開されるか、コストのモニタリング、Grafanaを用いた可視化、およびアラートルールやアラート通知の構成方法など。

オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニング（対面またはオンライン）を受講できますスケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityでご覧ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備のためにソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

また、

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース

その他のクラウドネイティブ関連リソースは[こちら](#)でご覧いただけます。



+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2025 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国における Nutanix, Inc. の登録商標または商標です。本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。